

# 平成28年度 柏崎市刈羽郡特別活動部 活動報告

佐藤 二三子

## 1 研究活動の方針

- (1) 「よりよい人間関係を育てる学級づくり」「あたたかい人間関係を共に築こうとする児童・生徒の育成」をはじめとする研修を深め、会員の指導力の向上を図る。
- (2) 小・中学校の連携及び柏崎市立教育センターとの連携を図り、研修内容の充実に取り組む。

## 2 研究の実際

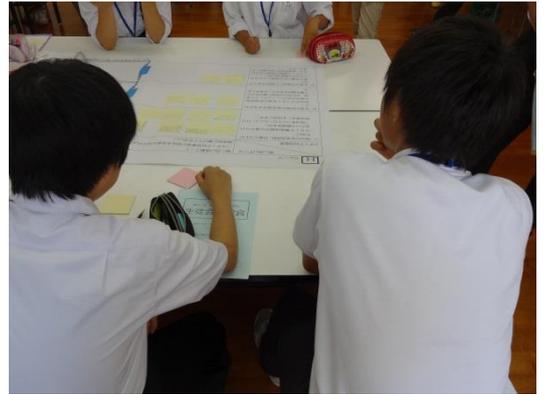
- (1) 柏崎市刈羽郡中学校 生徒会交歓会

○期日 平成28年7月27日(水)

○会場 柏崎市立第五中学校

○内容

- ・各中学校生徒会リーダーが、自校のメディア機器に関する課題について話し合い、中学生のメディアに関する意識を高める機会となった。
- ・中学生の話し合い活動を中心とした交流活動を参観し、レクリエーションやグループワークの研修の場とすることができた。



- (2) 集団づくりを基盤とした学力向上のために (柏崎市立教育センターとの共催)

○期日・会場 平成28年9月15日(木)

○講師 上越教育大学教職大学院教授 赤坂 真二 様

○内容

学習指導要領の全面実施に向けて、アクティブ・ラーニング時代の学力観と、学力向上の鍵となる集団づくりについて、研修することができた。教育活動を進める中で、集団づくりに苦勞する点が多い。「集団づくりのために何が大切なのか」、赤坂先生の講義に、終始真剣に耳を傾ける参加者の姿がみられた。ご講義の中で、下記の点が心に残った。

- ・学力向上に成功している集団に育てられている力に、例として、良好な関係性個人作業の時間の確保、学びのルールがある。
- ・教育力のある学級=教育効果の高い学級=育て合う力の高い学級である。
- ・「チーム」とは、一人ではできない課題を、良好関係を構築しながら、解決する集団である。
- ・「教師が」「本気で」「子どもたち同士が助け合うことを」「求めているか？」
- ・アクティブ・ラーニング型授業成功の必須条件の一つは、「学習者の参加度を上げること」

## 3 成果と課題

「生徒会交歓会」では、よりよい人間関係づくりのための方法論や、小・中の9年間を通じた学びの深まりを、実際に生徒の姿を通して研修することができた。

また、集団づくりに関わる研修を通して、学力向上のためにも、学級づくりが重要であることを学ぶことができた。今後もより多くの部員が参加できるよう、実施時期や研修内容を検討していきたい。